

第 5 回
諫早市総合計画審議会
諫早市まちづくり総合戦略推進会議
合同会議結果

日 時：令和 8 年 1 月 1 5 日（木）

午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 5 0 分

場 所：諫早市役所本館 8 階 8-1 会議室

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - （1）パブリックコメント結果等について
 - （2）第 3 次諫早市総合計画（案）について
 - （3）諫早市中期人口ビジョン（案）について
 - （4）第 3 期諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
 - （5）その他
- 4 閉 会

(会長)

- ・総合計画審議会およびまちづくり総合戦略推進会議は原則として公開となっております。また、議事録作成のため録音をさせていただいておりますので、あらかじめご了承ください。ご発言の際には、最初にお名前をおっしゃっていただき、その上でご意見をいただけますようお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めてまいります。まずは議題1「パブリックコメント結果等」及び議題2「第3次諫早市総合計画（案）」について、事務局から説明をお願いいたします。

【パブリックコメント結果等について】

【第3次諫早市総合計画（案）について】

(会長)

- ・ただいま事務局から計画素案について説明がありました。委員の皆様から何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(委員)

- ・パブリックコメント No. 32 の「こどもの城が保育所代わりになっている」という意見について、具体的にどのような利用実態を指しているのでしょうか。
- ・No. 33 の少年センターに関する意見で求められている「授業」とは、どのような形式を想定しているのでしょうか。

(事務局回答)

- ・No. 32 については、「保育所代わりではないか」という記載のみで、背景は読み取れない内容でした。市としては、記載のとおり保護者同伴が必要であるため保育所のような使い方はしていないとの回答になっております。
- ・No. 33 については、意見を出された方は少年センターが自主学習の場としてある認識だったと思われますが、実際には1人1台端末を活用し、授業に参加できる体制であることを説明しています。

【諫早市中期人口ビジョン（案）について】

【第3期諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について】

（会長）

- ・ただいま事務局に説明をしていただきました。内容についてご質問、ご意見いただきたいと思います。

（委員）

- ・先ほど説明をいただきまして、会議での提言を踏まえて変更いただいたことによって一貫性がある、また現状に即したものになったかと思います。ありがとうございます。

【まちづくり全般】

＜福祉関係＞

（委員）

- ・2040年に高齢者が最も多くなることを見据え、バリアフリーや介護、保健などを基軸とした施策をしっかりと進める必要があると思います。
- ・子ども施策についても、今すぐやるべきことと、長期的に取り組むことを整理する必要があります。また、小学校の心のケア相談員、中学校の心の教室相談員、SSR（スペシャルサポートルーム）、スクールカウンセラー等、受け皿が多いことは良いけれど、役割を整理しなければ個々に期待がかかってしまう懸念があります。
- ・障害のある子どもについては、断片的な支援ではなく、一生を通じた支援がないと親として不安が残るという声もありましたので、ぜひ考えていただきたいと思います。共生と口で言うのは簡単けれども、理解することと実際の現状というのは違いますので、言葉で言うだけではなくお願いをしたいと思います。

<地域経済・産業関係>

(委員)

- ・倒産よりも廃業が非常に多くなっており、地場産業の弱体化が深刻です。経営的な問題以外の事業承継等で、お金はあるが事業を辞めてしまう事業者が多くなっています。企業誘致も重要ですが、それだけでは雇用は支えきれません。諫早の土台として、地場産業をしっかり守る必要があると考えています。

(委員)

- ・廃業が進む背景には雇用の問題があります。人手不足への対応として、高齢者や外国人労働者に頼らざるを得ない状況ですが、言葉の壁や賃金の問題、地域との共生は今後諫早でも必ず来る問題であるため、考えていく必要があります。

(委員)

- ・労働力不足の問題はすでに実感しています。最低賃金の引き上げが続くと、地域産業は本当にやっていけない状況になっていきます。何とかしないといけないと思っています。

(委員)

- ・農業経営者が減少する中、健康寿命を延ばすという面も重要であると思います。集約化等で頑張っていくとともに、荒廃地を補助等により整備し、野菜をつくり、直売所で販売して長く元気に生きがいや収入を得られる仕組みも考えられるのではないかと考えています。

(委員)

- ・社会は需要不足から供給不足の時代に移っています。若い人材は賃金の高いところに流れやすく、企業は売上を伸ばさないと賃金が払えません。単価を上げる商品づくりや、ロボット・ITの活用は避けられないと考えています。

<子育て・教育関係>

(委員)

- ・リタイア後も元気に活動できる地域人材を、学校支援やキャリア教育の中で、もっと位置付けてもよいのではないかと思います。例えば、総合戦略 P36 の青少年健全育成の部分で読める内容ではありますが、地域住民と学校との関わりについて追記しても良いかと思います。

(委員)

- ・子育て支援は、親に子育てを教える仕組みが不足していると感じています。今後の未来を生きていく子供に対して、ルールを身に付けさせながら育てていくような仕組みが必要です。お金のかかる部分ではなく、人と人の関わりの中で、実施していけたらと思います。

<移住・定住関係>

(委員)

- ・若者は映画館や屋内施設など、今の時代に合った楽しめる場を求めています。
- ・人口減少は避けられない中でも、緩やかな人のつながりを大切にしまちづくりが重要だと思います。私たちも地域の魅力発信を通じて貢献していきたいと考えています。

(委員)

- ・地域で育った人が一度外に出て学び、その後、帰ってきやすい循環の仕組みを、行政としてもっとつくるべきではないでしょうか。そのためには、高校までを含めた教育の中で、地域への理解や将来の帰郷を意識した取組をより進める必要があると感じています。
- ・最も大切なのは子どもたちの健全育成であり、小・中・高とつながる組織づくりを通じて、まずは「諫早は素晴らしいところだ」と感じてもらったうえで外に出てほしいと思っています。

- ・ロボットやＩＴの進展は避けられませんが、それとは別に、人として「ここに住みたい」と思えるまちであってほしいと考えています。

(会長)

- ・各計画案は本会議での意見やパブリックコメント等を踏まえて取りまとめたものです。市民の皆様からいただいた意見も可能な限り反映しており、事務局から説明のあった案を最終案としたいと考えております。こちらについて皆様いかがでしょうか。よろしければ、拍手をもって御承認いただきたいと思います。また、修正が生じた場合については、私に一任いただきたいと思います。それでは、この後、事務局と調整しまして、最終的に修正しましたものを最終案として市長へ答申することとしたいと思います。

事務局から連絡等ありませんか。

(事務局)

- ・最終案は、２月６日に会長から市長へ答申していただく予定です。その後、３月市議会に議案として提出し、議決を経て、４月以降に冊子として印刷・製本します。完成次第、委員の皆様へ送付します。総合戦略についても同様に答申いたします。
- ・委員の皆様には２年間の委嘱期間となりますが、来年度は総合戦略の検証のため、会議出席をお願いする予定です。

(会長)

- ・本日の議事については以上でございます。これまで議事の進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。今後は、戦略の検証などで再びお集まりいただくこととなりますが、まずは計画を取りまとめることができたことに、委員の皆様へ感謝申し上げます。

～ 閉会 ～